

私たちの町、今とこれから

1年1組

●今の私たちの町

3月11日に津波が来て私たちが住んでいた大船渡は一瞬にして無くなってしまいました。私たちは、大切なものを失ってしまいました。大好きだった中学校。 あっという間に流されてしまい、辺りは、がれきでいっぱいでした。そのとき私は津波の恐ろしさを改めて初めて知りました。津波が来た日、学校だったので一晩みんなで泊まりました。とても不安でした。親、知り合いが無事かどうか心配でしたが、みんなで支え合い一晩乗り切りました。そのとき私は仲間ってすごい 仲間って大切なんだと思いました。私は大好きな仲間と一緒にだったので、とても心強かったです。

今回の東日本大震災で、たくさんの方々がボランティアをしてくれたり支援をしてくださって本当にありがたいです。私たちは希望を失っていました。けれど、皆さんの支援のおかげで一步ずつでも前に進もうと思いました。今でもまだ余震が続いていて、いつまた津波が来るのかとまだ心配です。でも今を精一杯生きていこうと思います。

●これからの自分

今は何も無くまた一からやり直しけれども、絶対に復興させてみせます！

今の自分は、何もできないですけど絶対に前よりいい町にさせたいと思います。私が今唯一出来る事は前向きに明るく元気であること。そして困っている人を少しでも助けたいと思います。後、命を大切にすることです。この大震災で亡くなられた方の分まで一生懸命生きていきたいと思います。

私は地元が大好きです。高校卒業後、地元で働きたいと思っています。少しでも皆の役に立てるように頑張りたいと思うし、笑顔が耐えない町にさせます。今は辛い日々を皆送っているけど、絶対にいい町は待っています。そして辛い時を乗り越えてこそ、未来が見えてくると思いますので頑張りたいと思います。絶対何事にも負けず挑戦し前に少しずつ進みたいと思います。



・撮影日時 2011年3月28日

・場所 大船渡市野々田

・コメント 家が全然無くて悲しかった。



・撮影日時 2011年3月28日

・場所 赤崎中学校

・コメント 瓦礫でいっぱいとても悲しかったです。